



このリストに掲載されている資料は、授業期間中は**人文科学図書館 ラーニングcommons**で利用できます。(一部他館にしか所蔵がないものもあります)

実際に読んだもの／利用したものにはチェックをつけましょう。

## 文化的景観、歴史的町並み

- 文化的景観：生活となりわいの物語 / 金田章裕著 日本経済新聞出版社 2012

文化的景観は日本の文化財の新しい概念です。地域における人々の生活と生業を物語る存在である景観を、どのように捉え、守っていくか。地理学で知られる筆者が語りかけます。

[他に 国際文化学図書館開架室 709-1-K]

- 重要文化的景観への道：エコ・サイトミュージアム田染荘 / 海老澤衷, 服部英雄, 飯沼賢司編 勉誠出版 2012

大分県豊後高田市の田染荘は、平安から中世の荘園として知られます。田染荘の歴史的、文化的意義を多方面から探り、文化的景観の姿を明らかにしています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 291-95-ZYU]

- 英国ナショナル・トラスト = The National Trust / [清水順子編] アメニティ2000協会 2016

イギリスを代表する自然・文化保護の仕組みである、ナショナル・トラスト。トラスト活動の概要と保護区域を紹介するコンパクトな一冊。『ナショナル・トラストへの招待』など類書も多くあります。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-1-EIK]

- ヴォーリズ六甲山荘物語 / 清水彬久[ほか]編 アメニティ2000協会 2012

阪神間にはいくつもの洋風建築が残されています。ヴォーリズが建てたことで知られる六甲山荘もその一つです。近代にレジャーの地として発見された六甲を代表する山荘の様子と保存の経緯等を紹介。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-1-VOR]

- 異人館のある町並み北野・山本 / 神戸市教育委員会事務局社会教育部文化財課編 神戸市教育委員会事務局社会教育部文化財課編 2000

神戸の異人館は港で働く外国人の町として形成、発達してきました。観光地で知られる町並みがどのように守られてきたのか。戦後の保存活動をまとめたガイドブック。

[他に 海事開架室：大型本2 291.6-42]

## 建造物・産業遺産

- 保存原論：日本の伝統建築を守る / 鈴木博之執筆 市ヶ谷出版社 2013

建築史が専門の著者が、代表的な伝統的建造物14事例の保存の記録と詳細をまとめた書。建造物の現地保存という課題は、人と地域の歴史に関わっています。

[他に 自然科学図書館2F開架室 521-6-97]

- 産業遺産とまちづくり / 矢作弘著；末松誠写真 学芸出版社 2004

産業遺産を実際に動態保存し、地域の資源としてまちづくりや観光に活かしている各地の試みを紹介しています。

[他に 国際文化学図書館開架室 602-1-Y など]

現代の建築保存論 / 鈴木博之著 王国社 2001

著者による建築保存の論考を集めた本。建造物の保存と文化財保護法との関わり、近現代の歴史的建造物を残す取り組み、都市ととの関わりなど、多岐に渡ります。

[ 人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 521-6-SUZ ]

産業遺産の記録 / J-heritage著; ワンダーJapan編 三オブックス 2012

日本の近代化に関わって来た建造物が、次々と姿を消しています。まだ利用出来たのでは、との思いから、全国に散在する約40の産業遺産に取材しその魅力を紹介しています。

[ 人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 602-1-SAN ]

産業遺産を歩こう: 初心者のための産業考古学入門 / 平井東幸, 種田明, 堤一郎編著 東洋経済新報社 2009

日本に残るさまざまな産業遺産を紹介。産業遺産を研究する「産業考古学」の入門書です。

[ 人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 602-1-SAN ]

日本の産業遺産: 産業考古学研究 / 山崎俊雄, 前田清志編 玉川大学出版部 2000 (新装版)

産業革命期から今日までの技術史を回顧しながら、産業考古学の発達をたどります。日本の産業遺産について、ガイドブックが多いなか、学界の研究成果がうかがえる点で重要。シリーズ2もあり。

[ 他に 社会科学系図書館書庫 2-1-1808//1 ]

## 現地保存

歴史的遺産の保護 / 加藤一郎, 野村好弘編 信山社出版 2014 (改訂増補版)

文化財をはじめ、歴史的遺産を守る手法は何だろうか。法律学の立場から、歴史保全活動が盛んなアメリカの法制度を中心に、日本やアジア太平洋諸国の法制度の現状と問題点を明らかにした。

[ 人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-1-REK ]

野外博物館の研究 / 落合知子著 雄山閣 2014

野外博物館とは何か? 遺跡、植物群落、伝統的建造物群、景観地、世界遺産、近代遺産等を含めて捉える。野外博物館を地域文化資源の保存活用という面から分析し、町おこしなどとの接続も見通している。

[ 人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 069-0-OTI ]

日本の世界文化遺産を歩く / 藤本強著 同成社 2010

日本で現在世界文化遺産とされている11カ所すべてを訪れ、それぞれの歴史的意味、現在の景観等について紹介。世界遺産の日本側関係者として成立の経緯や指定の条件等についても解説しています。

[ 他に 国際文化学図書館開架室 709-1-H ]

文化遺産の保存活用とNPO: 法政大学第27回多摩シンポジウム報告集 / 法政大学多摩シンポジウム実行委員会編 岩田書院 2012

文化財の保存活用で、ボランティアやNPOが活躍する場面が増えてきた。NPOや地域との連携を考える上で参考になる。岩田書院ブックレット。

[ 人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 709-1-BUN ]

地域と文化財: ボランティア活動と文化財保護 / 渡邊明義編 勉誠出版 2013

文化財の保存活用で、ボランティアやNPOが活躍する場面が増えてきた。地域の資料をめぐるボランティアによる保存活動の方法や具体例をまとめている。

[ 他に 国際文化学図書館開架室 709-136-W ]

- 町並み保存のネットワーク / 宮澤智士編 ; 三沢博昭写真 第一法規 1987

町並みの保存とは何か、どんなプロセスで、何が保存されているのか。伝統的建造物群保存地区の多様な事例から、歴史的町並みについて考えています。内容はやや古いですが、基本的事項が分かります。

[他に自然科学図書館2F開架室 521-8-36]

- よみがえった茅葺きの家 / いるか設計集団編 建築ジャーナル 2016

神戸市北区に残る江戸時代後期の大前家住宅を、移築再生した記録。登録有形文化財の移築例として貴重で、茅葺き民家をどう残すかという課題にも参考になる。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 521-86-IRU]

## 文化財の保護

- 遺跡保存の事典 / 文化財保存全国協議会編 平凡社 2006 (新版)

埋蔵文化財とも呼ばれる遺跡は、発掘調査で新発見があると華々しく報道されますが、その裏、毎年数多くの遺跡が開発によって破壊されてきました。過去人類の遺産である遺跡をいかに保存していくか、を考えます。

[他に 国際文化学図書館開架室(4F)大型図書 210-2-B]

- 文化財の社会史 : 近現代史と伝統文化の変遷 / 森本和男著 彩流社 2010

文化財が近代日本が成立していくなかで、どのように認識され、扱われてきたのかを探る。類書に『文化財と近代日本』山川出版社

[他に 人文科学図書館開架室709-1-MOR など]

- イスラームと文化財 / 野口淳, 安倍雅史編著 新泉社 2015

地域紛争が止まないイスラーム圏の諸国では、文化財もまた危機にさらされています。文化財の破壊、盗掘、略奪はなぜ繰り返されるのか。現地の実情と、保護・活用に尽力する取り組みを報告。

[他に 国際文化学図書館開架室 709-28-N]

- 激動の埋蔵文化財行政 / 高橋一夫, 岸本雅敏, 佐久間豊編 ニュー・サイエンス社 2002

埋蔵文化財を開発に伴い発掘調査する、あるいは保存活用する。これは行政の大きな役割ですが、その行政自体が社会経済の影響を受け、遺跡保存の根本が揺らいできています。様々な立場から文化財行政の一端を追っています。

[人文科学図書館KULiP(ラーニングcommons) 210-2-GEK]

- 遺跡保存を考える / 椎名慎太郎著 岩波書店 1994

文化財保存の流れの中、多くの遺跡が開発の波にのみこまれて消滅しています。現場で苦悩する市民や担当者の姿を描きながら、保護の仕組みや、私たちが歴史的環境のなかで生きる方策を探ります。

[国際文化学図書館開架室 080-0-15//318 など]

- 史跡保存の軌跡 : その苦闘の記録 / 平野邦雄著 吉川弘文館 2004

文化財行政の担当官として直面した数々の史跡破壊をめぐる事例を紹介し、史跡の理念と学問の責任を明らかにして、今後の史跡保存に指針を示しています。

[国際文化学図書館開架室 210-2-H]

## 地域振興と文化資源

- 観光資源としての博物館 / 中村浩, 青木豊編著 芙蓉書房 2016  
博物館を地域振興や観光資源として活用するアイデアを、実例をもとに考察している。多種多様な博物館の種別ごとの特徴等も整理されており、博物館について知る参考書としての役割も期待できる。  
[ 準備中 ]
- 歴史的遺産の保存・活用とまちづくり / 大河直躬, 三船康道編著 ; 梅津章子 [ほか] 著 学芸出版社 2006 (改訂版)  
歴史的遺産の保存から活用、まちづくりまでを考えます。日本の法制度や補助事業、アメリカや日本における実践例、都市計画での位置付け、NPOの関わり方など、最近の動きと考え方を解説しています。  
[ 他に自然科学図書館2F開架室 521-8-134 ]
- 遺跡と観光 / 澤村明著 同成社 2011  
遺跡など文化遺産がその地域にもたらす様々な「効果」について経済学の立場から分析。文化遺産の調査や保存の成果を、観光など地域の活性化、地域社会の持続的発展にどう生かすかを懇切に語る。  
[ 他に 国際文化学図書館開架室 709-0-S ]
- 化遺産と地域経済 / 澤村明著 同成社 2010  
文化財の保存は、地域経済にどのような影響をもたらすのか。経済的な視点から、博物館資料や文化財といった地域の文化遺産について考察し、活用のあり方を探ります。  
[ 他に 国際文化学図書館開架室 709-1-S ]
- 生きている文化遺産と観光 : 住民によるリビングヘリテージの継承 / 藤木庸介編著 学芸出版社 2010  
観光地化と遺産保護が両立し上手く機能している例は、それほど多くはない。中身の伴わない保存や、過度な商業開発で、地域の暮らしや伝統文化が崩壊している例もあります。地域活性化の手段として重視される観光推進と、生活文化の保全との両立の方法を探っています。  
[ 他に自然科学図書館2F開架室 689-0-19 ]
- 地域を変えるミュージアム : 未来を育む場のデザイン / 玉村雅敏編著 英治出版 2013  
地域と人々に変化をもたらしている、興味深いミュージアムの事例を紹介。博物館等の活用、あるいは町づくりなど地域活性化という観点からも注意される一冊。  
[ 他に 国際文化学図書館開架室 069-021-T ]

## 災害と景観、文化資源

- 六角堂再建の軌跡 / Ibaraki University 茨城大学 2014  
2011年の東日本大震災で、津波で流失した北茨木市の六角堂の再建記録です。文化財としての価値、地域復興の柱としての価値がそこにあります。  
[ 人文科学図書館KULiP(ラーニングコモンズ) 709-1-ROK ]
- 異人館復興 : 神戸市伝統的建造物修復記録 / 神戸市教育委員会編 住まいの図書館出版局 1998  
神戸市の伝統的建造物群保存地区として選定されている、北野の異人館群。1995年の震災で大きな被害を受けた建物と町の復興過程を記録しています。  
[ 他に 国際文化学図書館開架室 520-8-S3//91 ]
- 阪神・淡路大震災と歴史的建造物 / 加藤邦男編 思文閣出版 1998  
阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた、歴史的建造物の数々。文化財指定の有無や地域生活、復興過程など、様々な要因で保存・解体の明暗が分かれた実態をまとめ、その後の指針となりました。  
[ 他に自然科学図書館2F開架室 521-8-144//C ]